

平成 27 年度第 5 回
嬉野地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成 28 年 3 月 18 日
佐賀県教育委員会

目次

頁

資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第4回新高校設置準備委員会報告まとめ	1
資料 2	新高校の学科構成について	5
資料 3	校舎制について	24
資料 4	平成 27 年度の検討結果まとめ及び平成 28 年度以降の検討スケジュール について	29
資料 5	新高校設置準備委員会設置要領	32
資料 6	嬉野地区新高校設置に向けた検討体制	34
資料 7	嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成	35

資料1 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）
第4回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成27年 12月25日(金) 15時～16時30分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 8人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成28年 1月 7日(木) 9時55分～11時30分 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 9人 県教育委員会関係委員 6人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成28年 1月 7日(木) 15時～16時30分 巖木高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 8人
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成28年 1月12日(火) 15時05分～16時35分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 8人
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成28年 1月15日(金) 10時～11時45分 伊万里商業高校 会議室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 8人

2 主な意見等

地区	主な意見等
鹿島地区	<p>新高校の学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科の5学級を維持することはできないのか。 ・ 高校入試の時に、異なる大学科で第2志望まで志願することはできるのか。 ・ 平成30年度の新高校の募集定員280人を40人×7学級ではなく、35人×8学級の少人数学級編制にできないか。 ・ 生徒指導上の課題がある場合などは少人数学級編制の効果があるようだが、進学校の場合は40人編制で競争させた方が効果が高いという話を聞く。 <p>校舎制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎の名称は、「赤門学舎」と「大手門学舎」が個性的でいい。 ・ 1年次は現在の鹿島実業高校の校舎、2,3年次は食品調理科以外は現在の鹿島高校の校舎に移るようにすると、学校としての一体感も醸成しやすいのではないか。 ・ 校舎制は「当面」とあるが、最終的には1つの校舎になるのか。 <p>新高校の教育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事や部活動等、学校活動のレベルを高めて、新高校で学ぶプライドを醸成できるよう、作業部会で具体的に検討してほしい。

地区	主な意見等
嬉野地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認</p> <p>新高校の学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嬉野高校から専門学科への改編が提案されたが、就職などを考えると有利なのではないかと思うので賛成である。 ・ 選択科目の多い総合学科を小規模で維持することは難しいと考え、入学してくる生徒に一番良い教育を提供したい思いから、専門学科への改編を提案している。 ・ 工業科の小学科の定員を、少人数にする案が出ているが、職員数は変わらないと負担が大きくなるのではないか。 ・ 少人数の学科編制の検討を含めて、事務局で現実的かどうか検討してもらい、次回の設置準備委員会で報告してほしい。 <p>校舎制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎制は無駄が多いと思える。校舎制という小規模の中で、社会人として必要なコミュニケーション能力等を育成できるのか。 ・ 部活動は新高校の特色づくりに果たす役割が大きく、活動場所や移動手段等をはっきりと示す必要がある。 ・ 校舎制は半永久的か。できるだけ早く1つの校地にすることを希望する。 ・ 校舎制にして、本校と分校に分けるということはないのか。
唐津地区	<p>校時表について 事務局案のとおり承認</p> <p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新高校に入学してくる生徒の学力はこれまで以上に差があると思われるので、カリキュラムにも幅を持たせる必要がある。 <p>地域連携検討状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習のための作業所等を探す中では、市民センターも協力しなければならないと思っている。分校跡地なども活用する必要があるれば、相談に応じる。 <p>教育相談、生徒指導体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の発達障害のある子どもについては、通級指導教室でのソーシャルトレーニングが効果を上げている。新高校ではそういう教室との情報共有を図ってほしい。 ・ 教職員の資質向上として行われる予定の定期的な外部専門家等による校内研修会については、特別支援教育の事業も活用できる。 <p>施設、設備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンや電子黒板未設置教室への電子黒板の設置などについて、考慮をお願いしたい。

地区	主な意見等
	<p>教職員等の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太良高校のように学習支援員の配置が必要だと思う。
杵島地区	<p>新高校の学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度の募集学級数 5 学級の内訳は事務局案のとおり、普通科 3 学級、商業科 2 学級でよいか。 <p>事務局案のとおり承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科の文理特進クラスは、文系の生徒と理系の生徒が 1 つのクラスにいるわけだから、授業は 2 つに分けることになり、教職員数が足りなくなるのではないか。対応として、文理特進クラスを 2 クラスにしてはどうか。 ・ 商業科の会計コースでは英語を重視するという説明があったが、普通科の総合進学クラスと会計コースで英語を一緒にするという事は考えられないか。 ・ 総合選択制が可能になれば、普通科の生徒で経済学部や商学部に進学したい生徒は商業校舎で学ぶなど他にない特色を与えられると思う。 <p>校舎制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の移動には経費がかかるので、その試算をする必要がある。県がどのくらい負担できるかで、バス移動を伴う部活動の合同練習の回数なども決まってくるのではないか。 ・ 校舎制はデメリットが大きく、生徒にも先生にも迷惑がかかる。早く一緒に校地にした方が良い。
伊万里地区	<p>産業界からの意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経理とパソコンを扱える能力は企業でも、農業経営にも必要である。 ・ 森林工学科の「林業」については、佐賀県の中でどう構築するのが問題である。 ・ 地場産業の育成にさらに取り組むためには、昔のように、農業は農業、商業は商業ということでは競争に負けるのではないか。農業科と商業科が一緒になって、という思いがある。 ・ 教育環境をしっかりと整えて、希望のある学校になるようにしてほしい。 ・ 地方創生が叫ばれる中、伊万里の偉人とか歴史とかも勉強させて、伊万里に残って仕事をしてくれる人が多くなるような教育をしてほしい。それには、企業誘致も必要なので行政にも力を出してほしい。 <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数学級編制を実施している高校もある中で、新高校 200 人の定員を、農業科 100 人、商業科 100 人とできないか。 ・ 例えば、募集は農業科と商業科をまとめて行い 1 年次に共通科目を履修させ、2 年次以降に専門科目を集中させれば必要な単位数は修得できると思う

地区	主な意見等
	<p>が、それは可能か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 融合学科にはいろいろな形があるということだが、新しいコースの模索はできるのか。 <p>校地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントの結果では、伊万里商業高校が適地だという意見が多く、以前の計画でも伊万里商業高校が適地だとされていた。 ・ 伊万里商業高校がいい環境だということについて異論はないが、農業関係では実習があり、実習をどうするのかについては問題がある。 ・ 校舎制について、他県の事例はわかったが、どのくらいの期間やっているのか。

資料2 新高校の学科構成について

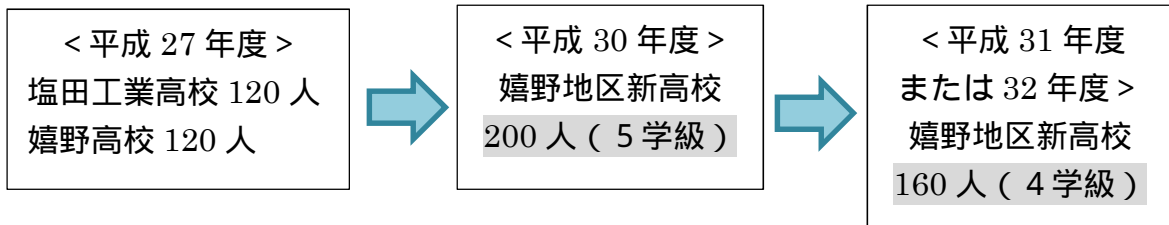
1 新実施計画（第1次）における新高校の学科についての基本的な考え方
 「現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。」こととしている。

2 新高校の学科構成について

<平成27年度現在の学科の状況>

学校	大学科	小学科	募集定員 (人・学級)	備考
塩田工業高校	工業科	機械科	40人・1学級	2年次より 「専門コース」 「進学コース」
		情報技術科、電気科	40人・1学級	
		建築科	40人・1学級	
嬉野高校	総合学科	-	120人・3学級	情報ビジネス系列、観光・流通系列、人文科学系列、文化教養系列、社会福祉系列の5系列

(1) 募集定員の見込



(2) 嬉野地区新高校の学級数と学科について(案)

平成29年度まで (現在)	塩田工業高校(3学級)	嬉野高校(3学級)
	↓	
	嬉野地区新高校	
	(仮称)塩田校舎	(仮称)嬉野校舎
平成30年度 5学級 200人	120人(3学級) + 80人(2学級) 配置については4学級(160人)パターンを決定後に検討。	
平成31年度 または 平成32年度 4学級 160人	<工業科> 80人 機械科 40人 1学級 電気科 20人 建築科 20人 — 40人 — 1学級	<総合学科> 80人 総合学科 80人 2学級 * 情報ビジネス系列 * 観光・流通系列 * 社会福祉系列

参考資料

1 学科に関する作業部会での検討結果

前回（第4回設置準備委員会）案に対する作業部会での検討結果まとめ

塩田校舎(仮称)

学科・学級数	No.	学級1	学級2			塩田工業 高校 前回案	検討用教育課程表と時間割の作成	検討結果	備考
		学科A	学科B	学科C	学科D				
2学科 2学級	①	機械科	建築科				作成	○	・ 教員一人あたりの週平均授業担当時間数が標準的な数値となる。
	②	機械科	情報技術科				(①に準じる)	○	(①に準じる)
	③	機械科	電気科				(①に準じる)	○	(①に準じる)
	④	機械科	電気情報技術科				作成	○	・ 教員一人あたりの週平均授業担当時間数が標準的な数値となる。
3学科 2学級	⑤	機械科	情報技術科	電気科			作成	○	・ ⑥～⑧と比較し、情報技術科と電気科の専門科目に共通する科目があるため、教員一人あたりの週平均授業担当時間数が標準的な数値となる。
	⑥	機械科	電気科	建築科			作成	△	・ ⑤と比較し、電気科と建築科の専門科目に共通する科目がないため、教員一人あたりの週平均授業担当時間数が多くなる。
	⑦	機械科	情報技術科	建築科			(⑥に準じる)	△	(⑥に準じる)
	⑧	機械科	電気情報技術科	建築科		パターン3	作成	△	・ ⑤と比較し、電気情報技術科と建築科の専門科目に共通する科目がないため、教員一人あたりの週平均授業担当時間数が多くなる。
	⑨	機械科	情報技術・電気科	建築科		パターン2	-	×	・ 現在の情報技術科と電気科の専門科目が残される形となり、両科が融合された⑧よりも教員一人あたりの週平均授業担当時間数が多くなることが想定される。
4学科 2学級	⑩	機械科	情報技術科	電気科	建築科	パターン1	-	×	・ 職員数は高校標準法に準じれば⑧よりも増えるが、情報技術科と電気科でそれぞれの専門科目を開設することになるため(⑧は学科を融合)、教員一人あたりの週平均授業担当時間数が多くなることが想定される。

<検討結果> ○設置可能 △設置が難しい ×設置が非常に難しい

※電気情報技術科(仮称)は情報技術科と電気科の融合学科を想定。

嬉野校舎(仮称)

学科・学級数	学科	コース	検討用教育課程表と時間割の作成	検討結果	備考
2学科2学級	商業科	ビジネスコース	作成	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校標準法及び高校標準法施行令に準じれば、商業科、保育福祉科とも専門学科としての実習助手の人数は0人(*注)になり、実習時の教諭の負担が増える。 ・ 保育福祉科子ども保育コースで福祉に関する学科としての専門科目を25単位以上実施していくには工夫が必要となり、その場合は担当教諭の授業時間数が増えることも見込まれる。 ・ 専門学科とした場合は、総合学科よりも生徒の進路選択のミスマッチに対応しづらくなる。
		観光コース			
	保育福祉科	介護福祉士コース			
		子ども福祉コース			

<検討結果> ○設置可能 △設置が難しい ×設置が非常に難しい

※学科名、コース名とも仮称。

※保育福祉科は福祉に関する学科を想定。

(*注)実習助手の配置について、商業に関する学科は高校標準法で収容定員の合計数が561人以上の課程で1人であり(この検討の場合では商業科3学年で120人であり、算定数0人となる。)、福祉に関する学科は高校標準法、高校標準法施行令とも実習助手の算定に係る規定はない。

〔参考〕学科に関する前回案 (第4回新高校設置準備委員会資料から再掲)

< 統合後の学級数と学科について (案) >

平成29年度まで (現在)	塩田工業高校 (3学級)	嬉野高校 (3学級)
↓		
嬉野地区新高校		
(仮称)塩田校舎 (仮称)嬉野校舎		
平成30年度 5学級 200人	120人 (3学級) + 80人 (2学級) 配置については4学級 (160人) パターンを決定後に検討。	
平成31年度 または 平成32年度 4学級 160人	<p>いずれも募集定員80人</p> <p><パターン1> 機械科 40人 1学級 情報技術科 10人 電気科 10人 } 40人 1学級 建築科 20人</p> <p><パターン2> 機械科 40人 1学級 情報技術・電気科 20人 } 40人 建築科 20人 } 1学級</p> <p><パターン3> 機械科 40人 1学級 情報電気科 20人 } 40人 建築科 20人 } 1学級</p>	<p>いずれも募集定員80人</p> <p><パターン1> 【総合学科】 80人 2学級 ・情報ビジネス系列 ・観光・流通系列 ・人文科学・文化教養系列 ・社会福祉系列</p> <p><パターン2> 【専門学科】 商業系学科 40人 1学級 (観光と商業の特色を持つ学科) 福祉系学科 40人 1学級 (福祉と保育の特色を持つ学科)</p>

2 地元のニーズについて（事業所への聞き取り） （第4回新高校設置準備委員会資料から再掲）

<実施日>平成27年11月18日（水）、24日（火）

<聞き取り方法>各事業所へ訪問し、関係担当者への直接聞き取り

<訪問事業所数> 4

<内容>

事業所	A	B	C	D
所在地	鹿島市	嬉野市塩田町	嬉野市嬉野町	嬉野市嬉野町
事業内容	製造業	製造業	福祉関係	宿泊業
採用について	<p>○塩田工業高校には機械科を指定して求人を出しているが、別の学科の人を採用している時もある。</p> <p>○資格は特に求めているない。</p>	<p>○塩田工業高校への求人は学科指定ではないが、過去の採用状況からは電気科よりも機械科の人の採用が多いと思う。</p> <p>○基本は技能工（ライン作業）だが、機械の保守や設計のための技術職が必要になる場合がある。技能工については、技術的な知識が必要というわけではないが、技術職については、機械、電気の基礎的な知識（高校程度）を持った人を採用している。</p>	<p>○嬉野高校の卒業生を採用している。嬉野高校の社会福祉系列ではしっかりとした指導がなされており、安心して採用できる。</p>	<p>○採用に関して学科を限定することはない。仕事内容も学科は関係ない</p> <p>○資格は特に求めているない。</p>
求める人材	<p>○業務上、数字に強いこと（算数の基礎）は必要。</p> <p>○工作機械を扱うので、機械の基礎知識があれば望ましい。</p> <p>○研究開発を海外と共同でやっているため、専門性、基礎的学力以外にも、英語力が必要となってきている。</p> <p>○本事業所では専門性のある、一つの技術を極めていく、いわゆる「職人さん」を望んでいる。</p>	<p>○コミュニケーション能力がある人。</p> <p>○根気強さ、粘り強さがある人。</p> <p>○安全管理の面でけがをさせたくないなので強い指導をすることがあるが、その指導をきちんと受け止められる人。</p> <p>○機械化が進み、単純な技能の仕事ではあるが、機械の準備やトラブル時の対応を報告、連絡、相談を行いながら、自分で考えてやれる人。</p> <p>○機械の保全や組み立ては自社で行うほうが望ましく、その専門知識（機械、電気）を持った人を欲しい時がある。欲を言えば両方だが、どちらかの知識でもあれば、片方は入社後に学べる。</p>	<p>○人権を尊重できる人。</p> <p>○人の生活を大切にしていける人（入所者はここで亡くなる人がほとんどなので、最後まで看取っていくことを踏まえて）。</p> <p>○人が好きであり、接遇面で基本的なことがやれている人。</p>	<p>○情報の取捨選択ができる人。</p> <p>○好奇心の幅がある人。創造力がある人。</p> <p>○最近は海外からの宿泊客に対応できる英語力が必要だと感じている。</p>
新高校に対する期待	<p>○工業科は是非残してもらいたい。工業科に求めるものは専門性である。</p>	<p>○工業部門の専門的なことが学べる場は必要である。専門性が薄くならないことを希望する。</p>	<p>○人間関係やコミュニケーションが学べるカリキュラムがあればと思う。</p> <p>○嬉野高校の福祉系列を維持してもらえるとありがたい。</p>	<p>特になし</p>
その他	<p>○学校では、マナーがしっかりした打たれ強い人を育ててほしい。</p>	<p>○ものづくりは人づくりであり、製品の品質を維持、向上させるため、社内に教育専門の部署を設けた。</p> <p>○最近の若い世代は打たれ弱い。また、連帯感が薄く、自分たちだけが楽しければという感じである。</p>	<p>○最近はコミュニケーション能力が低い若い人が多く、大きな集団に入っていけない人もいる。</p> <p>○福祉関係の人材のニーズは県内でも地域によって違う。やめた後の補充が難しく、充足しているかといえはしていない。福祉業界は勤務の厳しさや給与面とのアンバランスがあるため、福祉関係の求職者は減っている。</p> <p>○嬉野市は若い人が出ていくことが多い。雇用の場があれば若い人たちは残っていくと思う。</p>	<p>○旅館業は仕事をしながら学んでいくため、入社後はいろいろな部署を経験させる。</p> <p>○旅館業で「親切心」は必要である。</p> <p>○学校では「長幼の序」「言葉づかい」についてもう少し教育してほしい。</p>

3 塩田工業高校と嬉野高校の学科の内容

塩田工業高校

【機械科】

“ 実践重視のものづくり ”

あらゆる産業の基礎となる機械技術。機械科ではものづくりに必要な設計技術や加工技術を学習します。

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、製図、情報技術基礎、機械設計

（2年次）実習、製図、機械設計、機械工作、原動機、電気基礎

（3年次）課題研究、実習、製図、機械設計、原動機 機械工作、原動機、自動車工学

は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

【情報技術科】

“ つくる・つたえる・つながる ”

コンピュータは、私たちの生活に欠かせないものになっています。情報技術科では単に「使う」技術を学ぶのではなく、コンピュータやネットワークを「作る」技術を学習します。

平成2年に新設

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、情報技術基礎、電気基礎

（2年次）実習、電気基礎、アプリケーション技術実習（学校設定科目）

電子回路、通信技術、プログラミング技術

（3年次）課題研究、実習、製図、プログラミング技術、コンピュータシステム技術、

コンピュータ応用実習（学校設定科目）

は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

【電気科】

“ 人々の生活を支える電気 ”

電気は現代社会を支える必要不可欠な技術です。電気科では、基本的な学習から電気エネルギーの供給や利用など、技術者としての幅広い学習をします。

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、情報技術基礎、電気基礎

（2年次）実習、電気基礎、アプリケーション技術実習（学校設定科目）

電子機器、電子技術、通信技術

（3年次）課題研究、実習、製図、電力技術、電子計測制御

は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

【建築科】

“ 夢と満足の居住デザイン ”

建築物に必要なことは、快適に生活できること、地震や台風、火災、腐食に強いことです。建築科ではこれらを満たす建築物を計画、設計、施工（工事）、使用までの過程を学習します。

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、製図、情報技術基礎、建築構造

（2年次）実習、製図、建築施工、建築構造、建築構造設計、建築法規

（3年次）課題研究、実習、製図、建築計画、建築構造設計、建築施工、建築法規

は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

< 全学科共通選択科目 >

(2 年次) 子どもの発達と保育 (家庭科専門科目) 情報メディアデザイン (美術専門科目)

学校設定科目：漢字の世界 (国語) 身近な化学物質とその性質 (理科)

(3 年次) 生活と福祉 (家庭科専門科目) フードデザイン (家庭科専門科目)

絵画 (美術専門科目) 学校設定科目：現代史 (地歴科)

嬉野高校

【総合学科】

必履修科目一覧

(1 年次) 国語総合、世界史 A、数学、数学 A、科学と人間生活、体育、保健、美術 / 書道、

英語表現、コミュニケーション英語、家庭基礎、社会と情報、産業社会と人間

(2 年次) 国語総合、現代社会、生物基礎、体育、保健

(3 年次) 日本史 A / 地理 A / 政治・経済、体育

選択科目一覧

系列名	科目群の特色	総合選択科目				自由選択科目	
		基礎科目		基礎以外の科目		教科	科目
		教科	科目	教科	科目		
情報ビジネス	商業の科目や情報に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、高度情報化社会に貢献できる人材を育成する。	国語	国語表現	商業	電子商取引 マーケティング 商品開発 財務会計 I 原価計算 ビジネス計算※	国語	古典基礎※
		数学	総合数学※			公民	政治・経済
		外国語	コミュニケーション英語 II				
		商業	簿記 情報処理 ビジネス情報				
観光・流通	販売・サービスの基礎的・基本的な知識と技能を習得し、サービス産業に貢献できる能力と態度を養う。観光についての知識理解を深める。	国語	国語表現	商業	簿記 商品開発 広告と販売促進 情報処理 ビジネス情報	外国語	中国語入門※
		数学	総合数学※			商業	ビジネス基礎 コンピュータグラフィックス※
		外国語	コミュニケーション英語 II				
		商業	観光一般※ 観光ビジネス実践※ 観光地理※				
人文科学	普通教科・科目を中心に学習し、現代社会に適応できる基本的な知識を習得する。四年制大学や短期大学、高等看護学校に進学を希望する生徒が対象となる。	国語	古典 B 現代文 B	地理歴史	日本史 B 地理 B	福祉	社会福祉基礎 福祉一般※
		数学	数学 II 数学 B 総合数学※	理科	生物		
		外国語	コミュニケーション英語 II 英語表現 II				
文化教養	食物・被服・保育・語学など幅広い知識と技能を習得する。社会人としての必要な資質・教養を養成し、豊かな人間性を育てる。	国語	国語表現	国語	実践国語※		
		数学	総合数学※	芸術	美術 II 書道 II		
		外国語	コミュニケーション英語 II	外国語	中国語 I ※ 中国語 II ※		
		家庭	子どもの発達と保育 ファッション造形基礎 フードデザイン	英語	英語理解 時事英語		
社会福祉	福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術の理解を深め、将来、地域社会において福祉活動の推進に寄与する能力と態度を養う。	国語	国語表現	福祉	介護過程 介護総合演習 介護実習 こころとからだの理解		
		数学	総合数学※				
		福祉	社会福祉基礎 介護福祉基礎 コミュニケーション技術 生活支援技術	英語	英語理解		

注1 ※は学校設定科目である。

注2 教科「家庭」は主として専門学科において開設される教科である。

注3 教科「英語」は主として専門学科において開設される教科である。

詳細 塩田工業高校と嬉野高校の教育課程表

塩田工業高校 機械科

全日制課程 工業科 (機械)

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成27年度入学生							
			1年	2年		3年		計		
				専門	進学	専門	進学	専門	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4			(2)			0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4					4	4
数学II		4		2	2	2	2	4	4	
数学A		2		(2)	2			0・2	2	
数学B		2				(2)	3	0・2	3	
理科	科学と人間生活	2	2					2	2	
	物理基礎	2		3	3			3	3	
	物理	4					3		3	
	化学基礎	2			2				2	
	※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2		
体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7	
	保健	2	1	1	1			2	2	
芸術	美術I	2	2					2	2	
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	4	
	英語表現I	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2				2			2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2							2	
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・15 17・19	21	46・48・50 52・54・56・58	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		4	4	3	3	7	7
		製図	2~10	3	2	2	2		7	5
		情報技術基礎	2~6	2					2	2
		機械工作	2~8		(2)		(2)		0・2・4	
		機械設計	2~8	2	3	3	2	2	7	7
		原動機	2~6		(2)		(2)		0・2・4	
	家庭	自動車工学	2~10				(2)		0・2	
		電気基礎	2~8		(2)				0・2	
		子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
	美術	生活と福祉	2~6				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	校外学習活動	絵画	2~6				(2)		0・2	
情報メディアデザイン		2~6		(2)				0・2		
	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査	1~20								
	ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	10・12 14・16	8	29・31・33 35・37・39・41	27	
総合的な学習の時間			課題研究 (3単位) で代替							
履修単位の計			29	29	29	29	29	87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			○は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成27年度入学生							
			1年	2年		3年		計		
				専門	進学	専門	進学	専門	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2		4	4	
		国語表現	3				(2)	0・2		
		現代文A	2				3	3	3	
		※漢字の世界	2~4			(2)			0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4					4	4
		数学II	4		2	2	4	2	6	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4			(2)			0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
芸術	美術I	2	2					2	2	
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	4	
	英語表現I	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎(2単位)で代替							
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6	6
		製図	2~10				2	2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3	3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7	7
		電子回路	2~8		(2)				0・2	
		通信技術	2~8		(2)				0・2	
		プログラミング技術	2~8		(2)		(2)		0・2・4	
		コンピュータシステム技術	2~8				(2)		0・2	
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	3	
	※コンピュータ応用実習	2~8				(2)		0・2		
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~6				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
美術	絵画	2~6				(2)		0・2		
	情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2		
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査 ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究(3単位)で代替							
履修単位の計			29	29		29		87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

教科・科目		入学年度	平成27年度入学生							
		学年	1年	2年		3年		計		
		標準単位		専門	進学	専門	進学	専門	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4		(2)				0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4					4	4
		数学II	4		2	2	4	2	6	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
芸術	美術I	2	2					2	2	
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	4	
	英語表現I	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎（2単位）で代替							
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6	6
		製図	2~10				2	2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3	3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7	7
		電気機器	2~8		(2)	3			0・2	
		電力技術	2~8				(2)・(4)		0・2・4	
		電子技術	2~8		(2)				0・2	
		電子計測制御	2~8				(2)		0・2	
		通信技術	2~8		(2)				0・2	
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	3	
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~6				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査 ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替							
履修単位の計			29	29	29	29	29	87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

全日制課程 工業科 (建築)

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成27年度入学生							
			1年	2年		3年		計		
				専門	進学	専門	進学	専門	進学	
国語	国語総合	4	2	2	2			4	4	
	国語表現	3				(2)		0・2		
	現代文A	2				3	3	3	3	
	※漢字の世界	2~4		(2)				0・2		
地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2	
	地理A	2	2					2	2	
	※現代史	2~4				(2)		0・2		
公民	現代社会	2				3	3	3	3	
	政治・経済	2		(2)				0・2		
数学	数学Ⅰ	3	4					4	4	
	数学Ⅱ	4		2	2	2	2	4	4	
	数学A	2		(2)	2			0・2	2	
	数学B	2				(2)	3	0・2	3	
理科	科学と人間生活	2	2					2	2	
	物理基礎	2		3	3			3	3	
	物理	4					3		3	
	化学基礎	2			2				2	
	※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2		
体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7	
	保健	2	1	1	1			2	2	
芸術	美術Ⅰ	2	2					2	2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2			4	4	
	英語表現Ⅰ	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2								
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・15 17	21	48・50・52 54・56・58	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3				3	3	
		課題研究	2~6			3	3	3	3	
		実習	2~18		4	4	3	3	7	7
		製図	2~10	2	3	3	4		9	5
		情報技術基礎	2~6	2					2	2
		建築構造	2~8	3	(2)				3・5	3
		建築計画	2~10				2	2	2	2
		建築構造設計	2~9		(2)		(2)		0・2・4	
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~6				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
	校外学習活動	就業体験	1~6							
		知識及び技能審査 ボランティア活動	1~20							
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	12・14 16	8	29・31・33 35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究(3単位)で代替							
履修単位の計			29	29		29		87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事		別途計画							
備考			○は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

(課程) 全日制課程 (学科) 総合学科

				(第1、2、3年次生)			合計
	教科	科目	標準単位数	1年次履修単位数	2年次履修単位数	3年次履修単位数	
必修科目	国語	国語総合	4	3	2		5
	地理歴史	世界史A	2	2			2
		日本史A	2			△2	0・2
		地理A	2			△2	0・2
	公民	現代社会	2		2		2
		政治・経済	2			△2	0・2
	数学	数学I	3	3			3
		数学A	2	2			2
	理科	科学と人間生活	2	2			2
		生物基礎	2		2		2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	7
	保健	2	1	1			2
芸術	美術I	2	△2				0・2
	書道I	2	△2				0・2
外国語	コミュニケーション英語I	3	3				3
	英語表現I	2	2				2
家庭	家庭基礎	2	2				2
情報	社会と情報	2	2				2
合計				26	9	5	40
原則履修	総合	産業社会と人間	2~4	2			2
必修科目合計				28	9	5	42
選択科目合計				2・4	20・26	23・28	45・58
総計				30・32	29・35	28・33	87・100
校外学習活動	知識及び技能審査	1~20					
総合的な学習の時間			3~6	0	1	2	3
履修単位数総計				30・32	30・36	30・35	90・103
特別活動	ホームルーム活動	週当たり時数		1	1	1	3

△ 地歴の2科目選択については、第1年次「世界史A」の必修と教育課程表1の第3年次の「日本史A」・「地理A」・「政治・経済」の選択履修とする。
ただし、「政治・経済」を選択できるのは、「日本史B」か「地理B」の選択者にかぎる。

△ 「美術I」・「書道I」から1科目選択。

※ 第1年次の数学は、集中履修となり、数学I、数学Aの順に履修をする。

※ 第2年次の数学は、人文科学系列は総合選択科目の数学IIと校内必修科目の数学Bの集中履修となり、数学II、数学Bの順に履修をする。

※ 第2年次の理科は、人文科学系列は必修科目の生物基礎と総合選択科目の生物の集中履修となり、生物基礎、生物の順に履修をする。

系 列	総合選択科目											自由選択科目											
	基礎科目					基礎以外の科目						自由選択科目											
	教科 科目	単位	選択学年				備考	教科 科目	単位	選択学年				備考	教科 科目	単位	選択学年				備考		
1年			2年	3年	合計	1年				2年	3年	合計	1年				2年	3年	合計				
情報ビジネス 系列	商業	簿記	2~5	6	4	6	10	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校	商業	ビジネス基礎	2~4	2			2		
		情報処理	2~4	4	3	7		商業	商品開発	2~4		2	2		国語	古典基礎	2	2			2	学校	
		ビジネス情報	2~4	4	4	8			電子商取引	2~4		2	2		福祉	社会福祉基礎	2~6	2			2		
		国語	国語表現	3	2	2	4			財務会計Ⅰ	2~4		4	4		公民	政治・経済	2			2	2	
		外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4			原価計算	2~4		4	4		福祉	福祉一般	2~4			2	2	学校
										ビジネス計算	2~4		2	2	学校	商業	コンピュータグラフィクス	2~4			2	2	学校
観光・流通 系列	商業	観光一般	2~4	5		5	学校	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校	芸術	美術Ⅱ	2			2	2		
		観光ビジネス実践	2~6		4	4	学校	商業	商品開発	2~4		2	2			書道Ⅱ	2			2	2		
		観光地理	2~6	5		5	学校		広告と販売促進	2~4		2	2		英語	英語理解	2~6	2			2		
		国語	国語表現	3	2	2	4			情報処理	2~4	4	3	7			時事英語	2~4	2	2	2	4	
		外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4			ビジネス情報	2~4		4	4		外国語	中国語入門	2~4	2	2	2	2	学校
															国語	実践国語	2~4	2	2	2	4	学校	
人文科学 系列	国語	古典B	4	2	4	6		地理歴史	世界史B	4	4	3	7										
		現代文B	4	2	2	4			日本史B	4	4	3	7										
	数学	数学Ⅱ	4	3		3			地理B	4	4	3	7										
		数学B	2	2		2	学校	理科	生物	4	1	3	4										
		総合数学	2~6		5	5																	
	外国語	英語表現Ⅱ	4	2	4	6																	
文化教養 系列	家庭	子どもの発達と保育	2~6		3	3		数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校									
		ファッション造形基礎	2~6	6	4	10																	
		フードデザイン	2~6	4	6	10																	
	国語	国語表現	3	2	2	4																	
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4																	
社会福祉 系列	福祉	社会福祉基礎	2~6	2	2	4		福祉	介護過程	2~6	2	2	4										
		介護福祉基礎	2~6	2	3	5			介護総合演習	2~6	1	2	3										
		コミュニケーション技術	2~4	2		2			介護実習	2~16	2	6	5	13									
		生活支援技術	2~12	4	6	10			こころとからだの理解	2~12	3	6	9										
	国語	国語表現	3	2	2	4		数学	総合数学	2~6	2		2	学校									
	英語	英語理解	2~6	2		2																	

※ 「介護実習」
 ・第1年次2単位 第2年次6単位 第3年次5単位 合計13単位の校外実習がある。
 ※ 社会福祉系列に進む生徒は、第1年次の総合選択科目の社会福祉基礎を選択しなければならない。
 ※ 第1年次に中国語入門を履修していない生徒が、第2年次に中国語入門を選択できる。

4 総合学科における学級数と系列数の相関関係

		系列数									計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
学級数	1		5	1	1						7
	2		1	17	11	4					33
	3			10	29	11	2				52
	4			2	15	28	11	3	1		60
	5	1		1	3	25	11	4	1		46
	6			2	8	16	25	12	3	1	67
	7				1	9	7	3	3		23
	8			1		1	1	2	1	1	7
計		1	6	34	68	94	57	24	9	2	295

対象は総合学科を持つ全国の公立高等学校で平成27年度入学生に対する状況である。

(富山県教委資料により作成)

5 鹿島・藤津地区の学科の状況

(1) 配置

鹿島・藤津地区の学科及び募集定員(640人 16学級規模)

普通科 280人(7学級規模)

(鹿島高校 200人、太良高校 80人)

専門学科 240人(6学級規模)

(工業科:塩田工業高校 120人、商業科:鹿島実業高校 80人、家庭科:鹿島実業高校 40人)

総合学科 120人(3学級規模)

(総合学科:嬉野高校 120人)

【工業科、総合学科の全県配置】



県内の工業系高校の小学科、総合学科高校の系列 (数値はH28募集定員)

<工業系高校>

鳥栖工業高校	240	...	【機械科 80】【電子機械科 40】【電気科 40】【建築科 40】【土木科 40】
佐賀工業高校	280	...	【機械科 80】【電気科 80】【電子情報科 80】【建築科 40】
唐津工業高校	160	...	【機械科 40】【電気科 40】【建築科 40】【土木科 40】
有田工業高校	200	...	【機械科 80】【電気科 40】【セラミック科 40】【デザイン科 40】
塩田工業高校	120	...	【機械科 40】【情報技術科、電気科 40】【建築科 40】

<総合学科高校>

神埼清明高校	160	...	みどり系列、食品科学系列、情報ビジネス系列、生活・福祉系列、健康・スポーツ系列、人文教養系列
多久高校	160	...	人文科学系列、自然科学系列、健康福祉系列、商業ビジネス系列、マルチメディア系列、工業技術系列
唐津青翔高校	80	...	文理系列、社会福祉系列、情報ビジネス系列、環境文化系列、芸術系列
嬉野高校	120	...	情報ビジネス系列、観光・流通系列、人文科学系列、文化教養系列、社会福祉系列

(2) 鹿島・藤津地区の高校別志願状況

地区名	高校名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般
鹿島 藤津 地区	鹿島	1.24	1.22	1.12	1.14	1.06	1.01	0.99	1.04	1.04	1.07	1.11	1.10	1.06	1.00	0.98	1.00	0.95	0.93	1.21	1.11	1.05
	太良	0.36	0.34	0.47	0.51	0.58	0.98	0.75	0.85	1.20	0.74	0.74	1.14	0.76	0.75	0.89	0.66	0.84	1.15	0.73	0.88	0.97
	塩田工業	0.87	1.02	1.20	0.71	0.71	0.90	0.71	0.81	1.00	0.74	0.74	0.99	1.00	1.03	1.16	1.00	1.02	1.04	0.86	0.97	1.07
	鹿島実業	1.75	1.60	1.42	1.44	1.49	1.17	1.38	1.33	0.94	1.35	1.30	0.92	1.29	1.22	1.11	1.13	1.03	0.81	1.13	1.09	0.96
	嬉野	0.73	0.84	1.05	1.00	1.09	1.20	1.20	1.13	1.25	1.01	1.08	1.23	0.97	0.86	0.90	0.76	0.78	0.90	0.83	0.88	0.97

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

<塩田工業高校と嬉野高校の学科別志願状況>

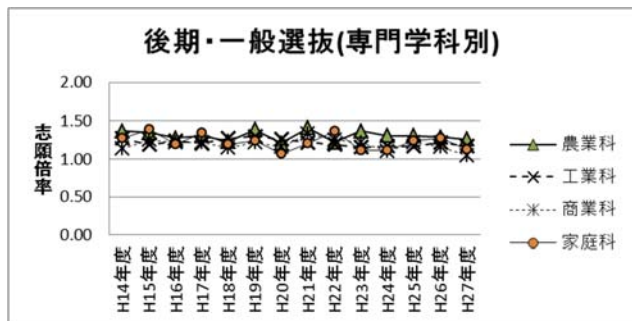
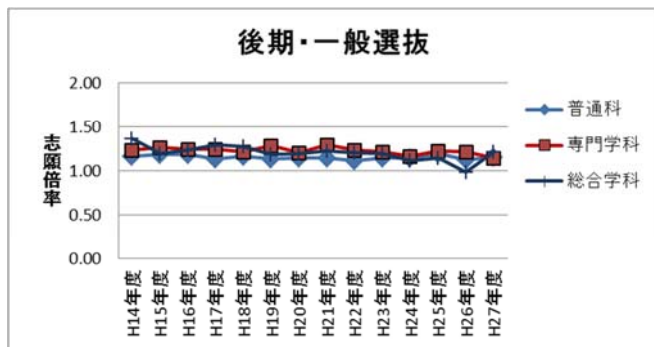
学校名・学科名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生			
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	
塩田工業 高校	全体	0.87	1.02	1.20	0.71	0.71	0.90	0.71	0.81	1.00	0.74	0.74	0.99	1.00	1.03	1.16	1.00	1.02	1.04	0.86	0.97	1.07
	機械科							1.25	0.83	1.16	1.40	1.25	1.13	1.55	1.58	1.21	1.20	1.13	1.17	1.23	1.15	1.20
	情報技術科							0.60	0.75	0.90	0.45	0.58	0.94	0.90	0.83	1.19	0.83	0.80	0.94	0.45	0.65	0.97
	電気科							0.68	0.98	0.88	0.45	0.53	0.97									
	建築科							0.33	0.68	1.07	0.65	0.63	0.94									
嬉野高校	総合学科	0.73	0.84	1.05	1.00	1.09	1.20	1.20	1.13	1.25	1.01	1.08	1.23	0.97	0.86	0.90	0.76	0.78	0.90	0.83	0.88	0.97
県全体	1.21	1.19	1.16	1.20	1.17	1.17	1.19	1.16	1.17	1.21	1.18	1.20	1.20	1.15	1.15	1.18	1.14	1.15	1.18	1.14	1.14	1.14

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。
 ※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

【参考1 県全体の学科別志願状況】

後期・一般	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
普通科	1.11	1.14	1.14	1.19	1.12	1.15	1.11
専門学科	1.23	1.21	1.16	1.22	1.21	1.14	1.19
農業科	1.22	1.37	1.31	1.31	1.29	1.26	1.26
工業科	1.19	1.16	1.17	1.17	1.22	1.17	1.23
商業科	1.25	1.22	1.10	1.22	1.16	1.05	1.16
家庭科	1.37	1.11	1.11	1.24	1.27	1.13	1.02
総合学科	1.20	1.19	1.11	1.14	0.98	1.21	1.07
県立全体	1.16	1.17	1.15	1.20	1.15	1.15	1.14

理数科及び芸術科は普通科に含む。



【参考2 工業科の小学科別志願状況】

大学科・小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生		
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般
工業	1.23	1.22	1.19	1.11	1.10	1.16	1.19	1.20	1.17	1.18	1.14	1.17	1.25	1.21	1.22	1.17	1.17	1.17	1.22	1.20	1.23
機械系	1.65	1.45	1.12	1.46	1.25	1.12	1.41	1.35	1.13	1.59	1.48	1.32	1.52	1.40	1.25	1.35	1.33	1.27	1.54	1.40	1.27
電気系	1.05	0.97	1.29	1.00	1.03	1.41	1.10	1.04	1.04	0.94	0.98	1.12	1.03	0.98	1.06	0.91	0.89	1.02	0.85	0.98	1.11
電子・情報系	0.88	1.07	1.46	0.73	0.72	1.26	0.85	1.06	1.26	0.81	0.86	1.17	1.33	1.27	1.45	1.13	1.24	1.26	1.13	1.12	1.29
建築系	0.64	0.66	1.04	0.81	0.91	1.35	1.11	1.18	1.17	1.27	1.09	1.08	1.31	1.22	1.24	1.28	1.20	1.12	1.44	1.39	1.28
土木系	0.96	1.03	0.94	0.85	1.08	1.03	1.20	1.33	1.42	1.08	1.11	1.21	0.88	1.11	1.26	1.08	1.13	1.14	1.03	1.05	1.41
その他	1.02	1.13	1.24	0.80	0.83	0.95	1.45	1.33	1.37	0.86	0.98	0.86	0.99	1.09	1.14	1.14	1.19	1.40	0.99	1.01	1.06

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

(3) 鹿島・藤津地区の中学生の進路状況

鹿島・藤津地区の中学生の進路状況を分析すると、約8割が県内公立高校に進学しており、普通科と専門学科がほぼ4割ずつである。地域としては約7割の生徒が、地元である旧西部学区へ進学している。

鹿島・藤津地区 中卒者進路	全日制			定時制 ・ 通信制	高専 ・ 特別 支援	就職等 左記 以外	卒業 者数
	県内 公立	県内 私立	県外 公私立				
平成23年 3月卒	615	56	15	4	13	15	718
	85.7	7.8	2.1	0.6	1.8	2.1	
平成24年 3月卒	620	73	17	6	11	12	739
	83.9	9.9	2.3	0.8	1.5	1.6	
平成25年 3月卒	638	76	10	10	7	23	764
	83.5	9.9	1.3	1.3	0.9	3.0	
平成26年 3月卒	604	60	22	3	9	17	715
	84.5	8.4	3.1	0.4	1.3	2.4	
平成27年 3月卒	586	51	19	3	7	17	683
	85.8	7.5	2.8	0.4	1.0	2.5	
5年集計	3,063	316	83	26	47	84	3,619
	84.6	8.7	2.3	0.7	1.3	2.3	

塩田工業高校及び嬉野高校への通学状況

ほとんどが、地元からの入学者である。

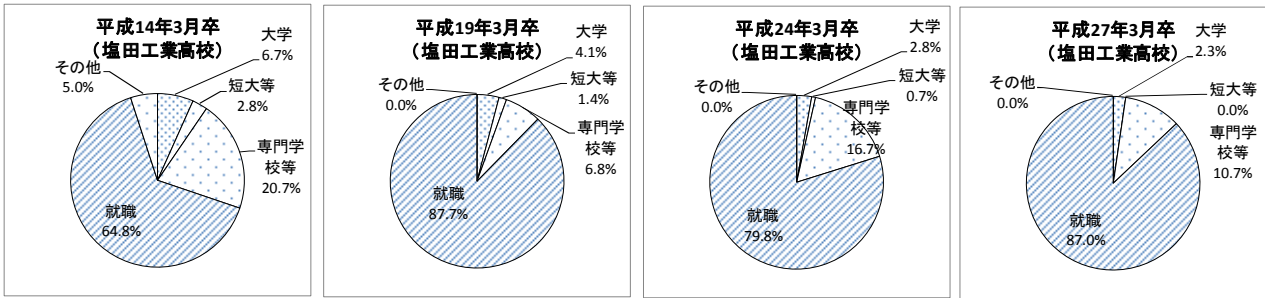
	旧東部	旧中部	旧北部	旧西部	単位：%	
					うち嬉野市	県外等
塩田工業高校	0.0	1.4	0.1	98.2	29.8	0.3
嬉野高校	0.0	0.2	0.0	99.3	54.0	0.7

注) 平成23年～平成27年度の高校1年在籍者の出身中学校を基に、旧学区ごとの割合を示す。(各年度5月1日現在)

(4) 塩田工業高校と嬉野高校の高校卒業後の進路状況

工業科

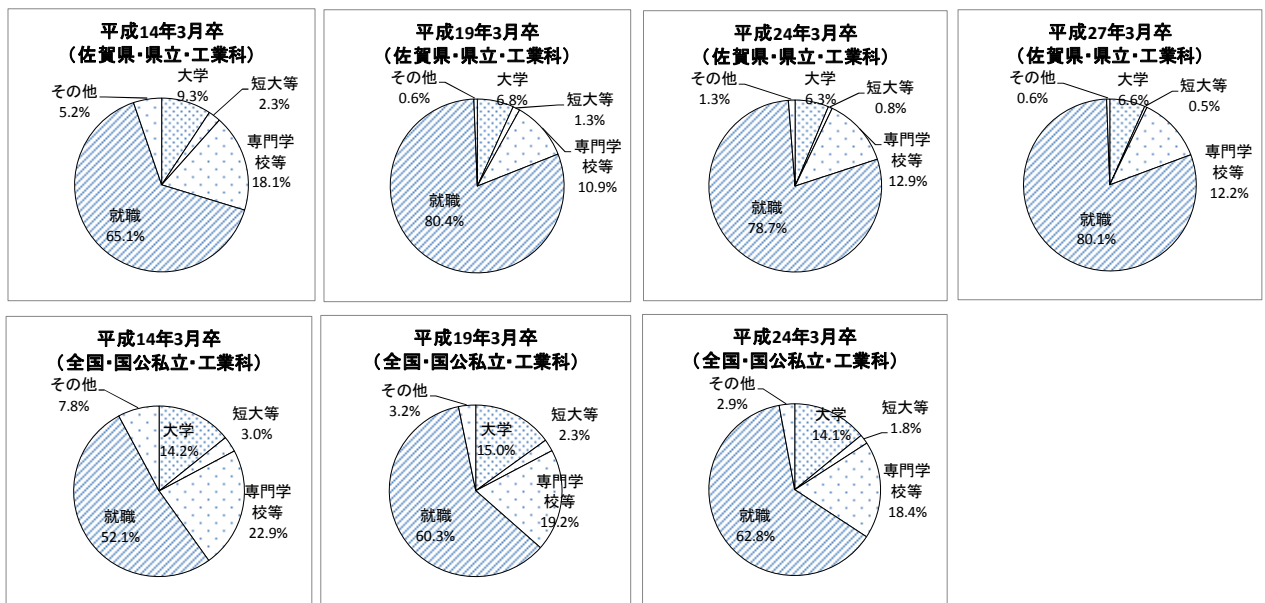
【塩田工業高校卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の工業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・工業科

下段：全国・国公私立・工業科



<主な進学先>

(私立) 福岡大学、九州産業大学、西九州大学

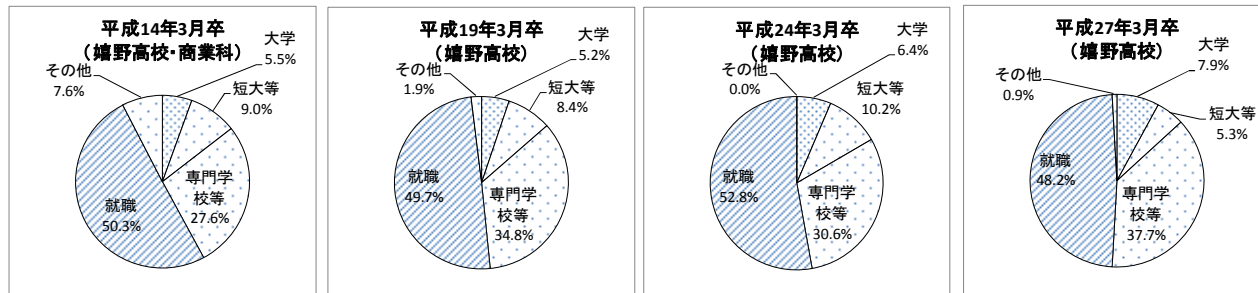
(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、九州国際情報ビジネス専門学校、緑生館、鹿島看護学校

<主な就職先>

日産自動車、JFE スチール、トヨタ自動車、豊田鉄工、アイシン化工、ジェイテクト、西島製作所、ダイハツ工業、マツダ、新日鐵住金八幡製鐵所、九州製鋼、九電工、佐川急便九州支社、フランソア、東亜工機、友朋会、森鉄工、祐徳薬品工業、九州住電精密、ジェイエイビバレッジ佐賀、鹿島機械工業、中山鉄工所、佐賀シール工業、不二コンクリート工業、デリカフレンズ佐賀工場、佐賀県農業協同組合、名村造船所、塩田環境開発、友樹飲料、織田病院、戸上デンソー、五光建設、祐徳自動車、宮園電工、エスティ工業、キタック、ソクト、警視庁、陸上自衛隊、航空自衛隊

総合学科

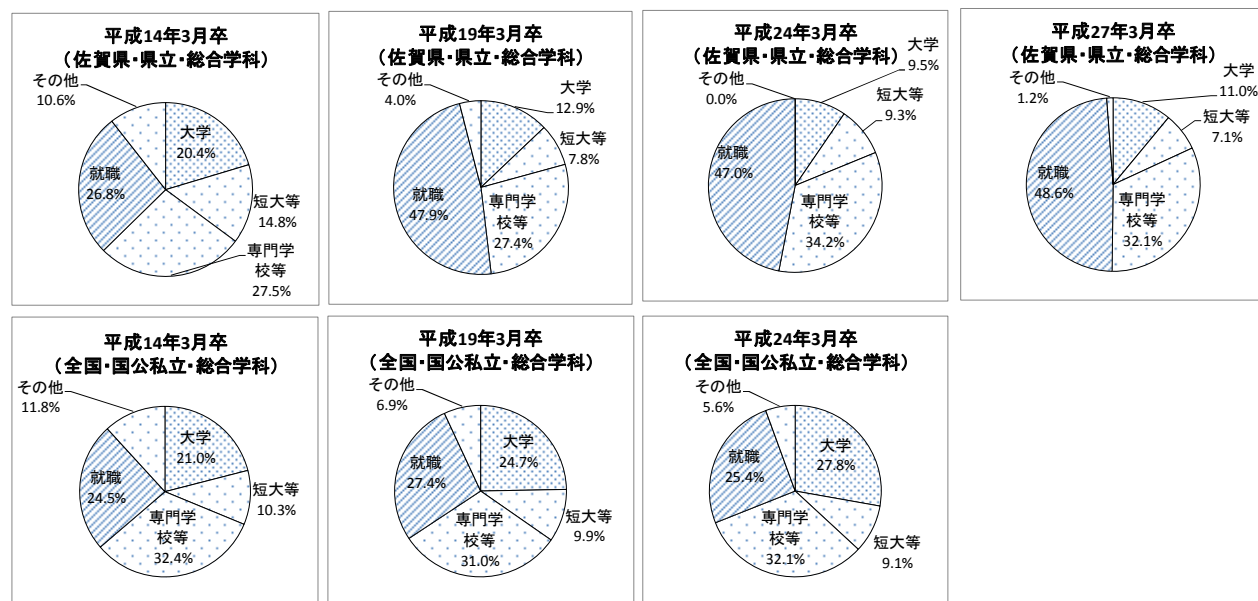
【嬉野高校卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の総合学科卒業後の状況】

上段：佐賀県・県立・総合学科

下段：全国・国公立・総合学科



<主な進学先>

(国公立) 佐賀大学、熊本大学、長崎県立大学

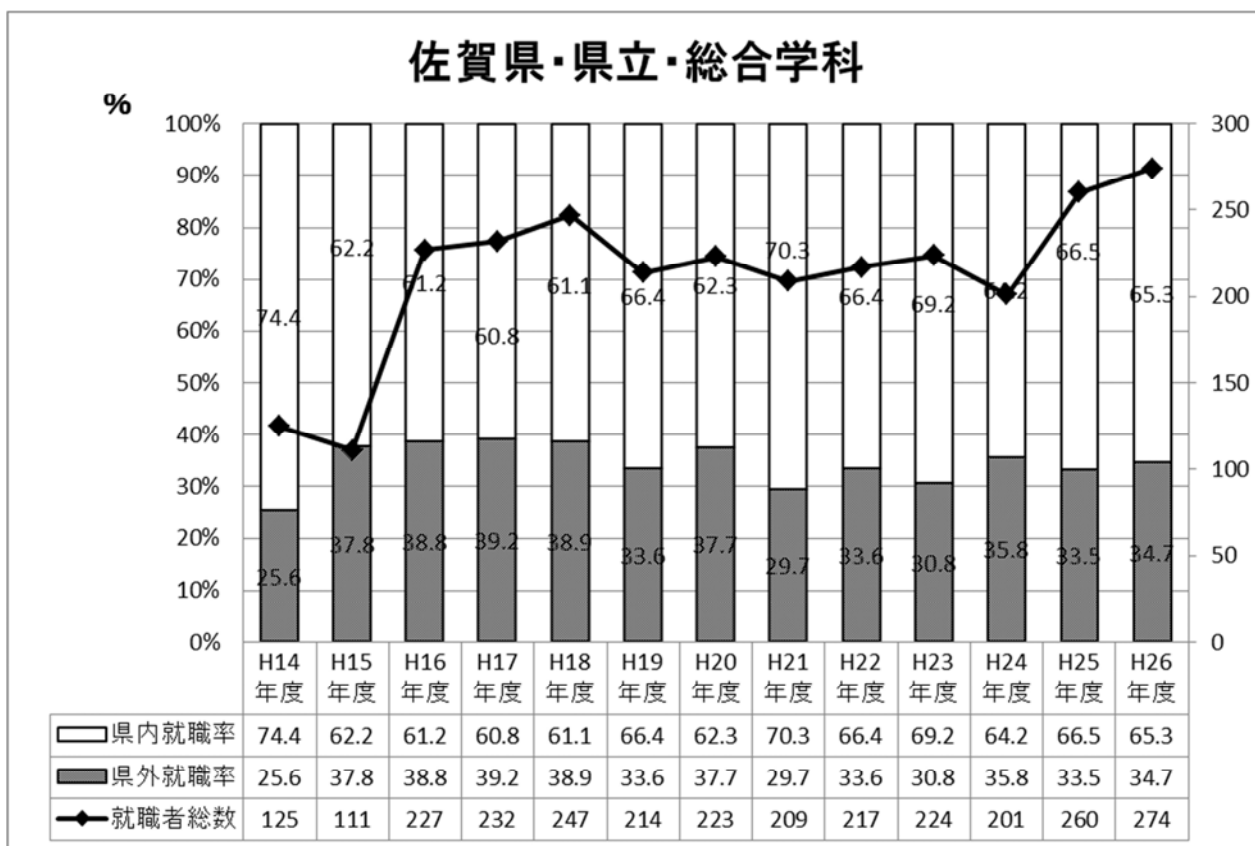
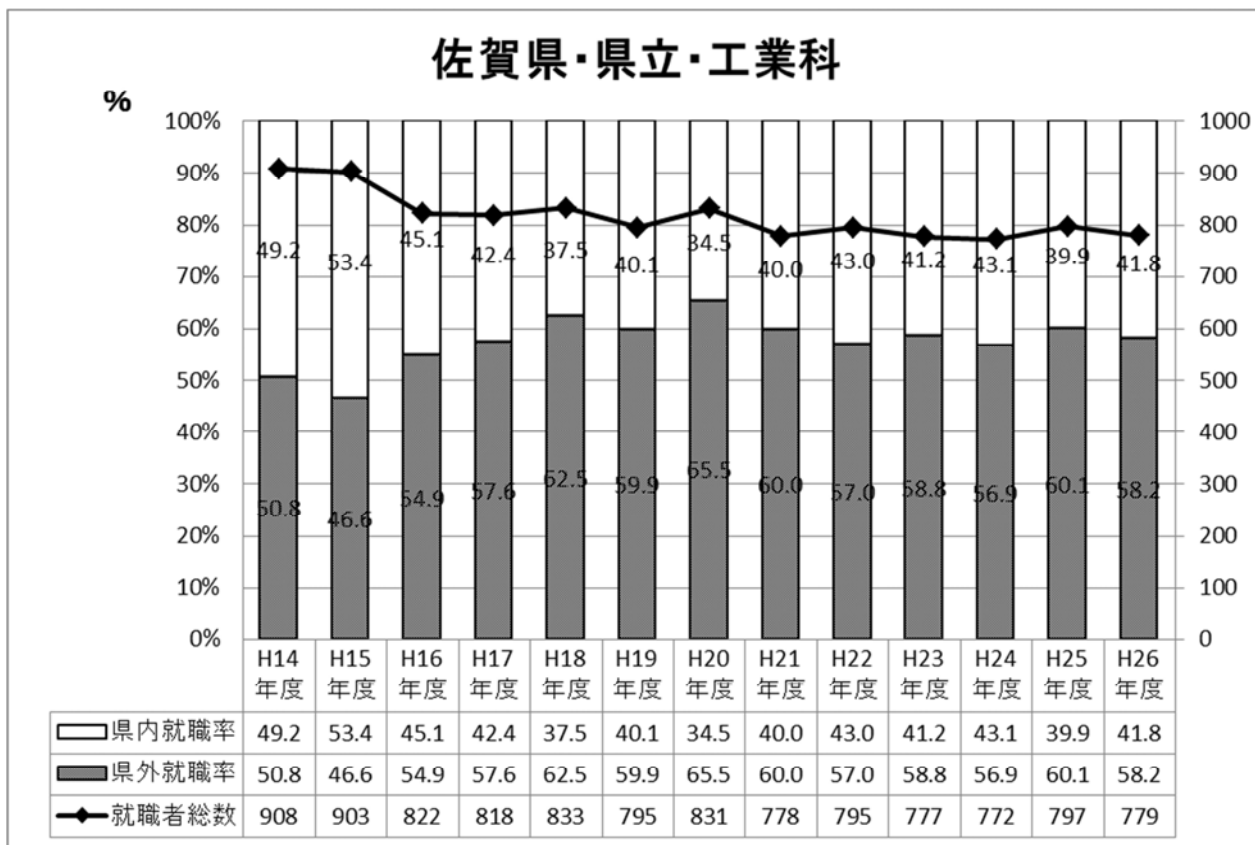
(私立) 西九州大学、福岡大学、九州共立大学

(短期大学) 西九州短大、佐賀女子短大

(専修学校等) 九州国際ビジネス専門学校、トヨタ名古屋自動車大学校、福岡美容専門学校、麻生リハビリテーション大学校、久留米リハビリテーション学院、長崎リハビリテーション学院、武雄看護リハビリテーション学校、緑生館

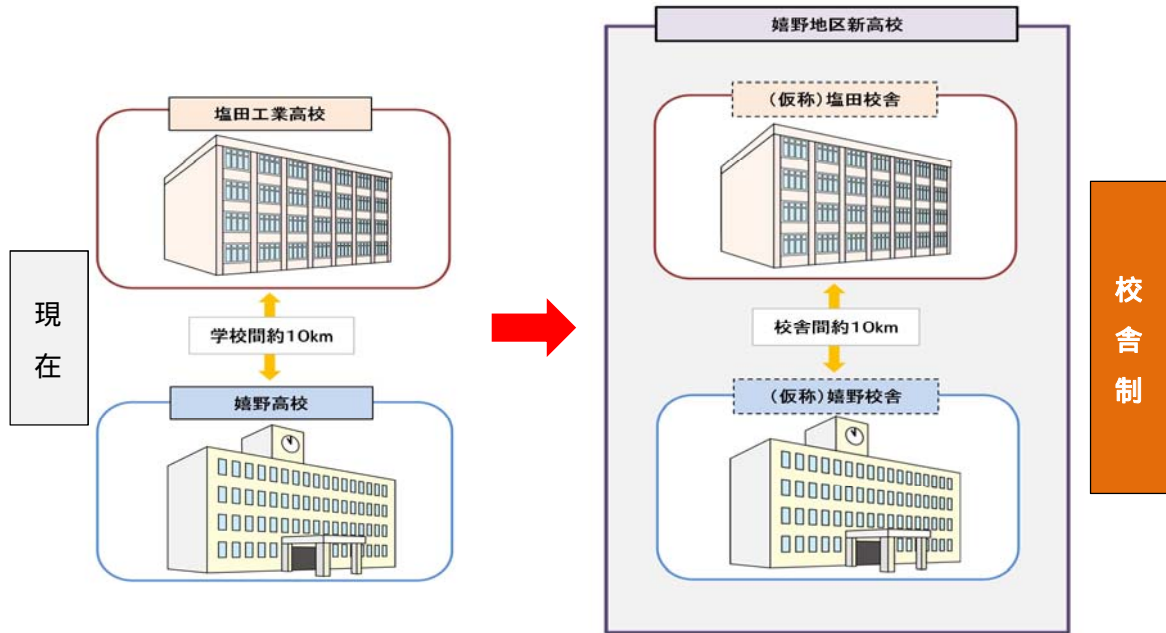
<主な就職先>

佐賀西信用組合、祐徳薬品工業、祐徳稲荷神社、和多屋別荘、ホテル華翠苑、肥前通運、祐徳自動車、タケックス、佐賀セロリ、佐賀シール工業、村岡屋、友朋会嬉野温泉病院、白石共立病院、社会福祉法人済昭園、すみれ園、Aコープ佐賀、山崎製パン、東京急行電鉄、東京エアポートレストラン、エスラインギフ、札幌かに本家、美々卵、セラミックセンサ、マツダ、イズミ、昭和金属工業、JR九州、にしけい、長崎キャノン、陸上自衛隊、航空自衛隊



資料3 校舎制について

1. 校舎制のイメージ



2. 校舎制に係る今後の主な検討事項整理（嬉野地区新高校）

(1) 再編後の校舎の呼称

【現在】	【嬉野地区新高校】
・塩田工業高校	()
・嬉野高校	()

<参考> 他県の事例： ~校舎、 ~校地、 ~キャンパス

(2) 生徒の配置、移動について（メリットして考えられること デメリットとして考えられること）

【配置について】

- 生徒の配置について、新高校では現在の教育設備等の配置上、工業科：塩田校舎（仮称）、総合学科：嬉野校舎（仮称）が原則となるが、例えば共通科目の履修が多い1年次で、ある一定の時期は同一の校舎で授業を行う等の工夫をするか。

新高校としての統一感の醸成が期待できる。

どちらかの校舎では1年生が不在で、2・3年生のみ（4クラス分）の生徒しか活動しないことになり、1年生が不在の校舎では活力面の低下が予想される。

【移動について】

学習活動面

- 例えば総合選択制のように生徒が学科を越えて科目を履修できるような形とするか。

生徒の学習面での選択肢が増える。

学科を越えた科目選択を行う場合には生徒の校舎間の移動が伴う。また、専門以外の科目を学ぶことになるため、生徒の専門性の向上には直接つながらない。

行事面

- ・ 合同行事の精選（時期、場所、運営方法）
基本的には学校、各学年で行うものは合同で、各学科で行うものはそれぞれの校舎で開催していく。合同開催が良いもの、または各校舎での開催が良いものを線引きしていく。
- ・ 合同行事として想定できるもの（要検討）
入学式、卒業式、文化祭、体育祭、修学旅行、1年次宿泊研修、高校総体壮行会、芸術鑑賞会、学年交流会、クラスマッチ、マラソン大会等
- ・ 生徒、保護者の移動手段
合同行事の際は現地集合とするのか、または移動のためのバスを手配するのか。
- ・ 開催場所は学校の施設を基本とするが、嬉野市社会文化会館（リバティ）や嬉野市公会堂などの公共施設の利用も検討する。

部活動面

- ・ 既存の部活動を基本とし、設置する部とその活動場所、顧問の配置について検討する。
- ・ 週内で合同練習の日、各校舎練習（パート練習、個人トレーニング等）の日に分けるなど、効率良く練習ができるように工夫する。
- ・ 校舎間の移動手段について検討する。
行事面と同様にどのような移動手段とするのか。
例えば貸切バスとした場合の週当たりの移動日数、1日以内での移動回数をどうするのか。
- ・ 現在の両校の性別生徒数から、新高校では特に運動部で男子部が塩田校舎（仮称）女子部が嬉野校舎（仮称）で主に活動することが想定されるため、そのことを考慮したシミュレーション（部設定、移動手段、活動場所、活動内容）を行い、検討する。

【その他の主な検討事項】

職員に係るもの

- ・ 職員の校舎間兼務の取り扱い。
- ・ 職員会議などの各種会議や各種研修の在り方。
- ・ 各種委員会に係る職員配置。
- ・ 校務分掌に係る職員配置。
- ・ 校務分掌に係る各種規程（教務内規、生徒指導や進路指導に係る校内規程等）の摺合せ。 等

学校事務に係るもの

- ・ 文書を両校舎で共有するためのシステム作り。 等

熊本県立阿蘇中央高等学校

(1) 沿革

H22.4 阿蘇高等学校(普通科、商業科)と阿蘇清峰高等学校(生物科学科、林業・農業土木科、社会福祉科)が統合。

(2) 学科と募集定員

【計 280 人 7 学級 / 学年】

校舎	学科	H27 募集 定員(人)
阿蘇校舎(旧阿蘇高校)	普通科	120
	総合ビジネス科	40
阿蘇清峰校舎(旧阿蘇清峰高校)	農業食品科	40
	グリーン環境科	40
	社会福祉科	40

(3) 各校舎間の距離 約 3.1 km

(4) 校舎制の状況 (H27.6.15 に学校訪問)

- ・ 副校長が阿蘇清峰校舎に、教頭が阿蘇校舎に常駐し、校長は月・水・金は阿蘇清峰校舎、火・木は阿蘇校舎に常駐している。
- ・ 各学科が複数の類型を持ち、なおかつ総合選択制を実施しているため、選択科目等の関係でカリキュラムは複雑化する。
- ・ 生徒の移動を伴うのは、授業(総合選択制)、合同行事、部活動等である。
- ・ 入学式、卒業式の際は、保護者用のバスも準備する。
- ・ 部活動のための移動は、生徒各自で行う。ほとんどの生徒が30分程度をかけて徒歩で移動している。移動ルートはほぼすべてに歩道が設置されている。特に交通指導等はしていない。
- ・ 合同で行っている行事は、各式典(入学式・卒業式・始業式・終業式・対面式)、宿泊研修(1年次)、体育祭・文化祭、農業体験(田植え・稲刈り・収穫感謝祭)、修学旅行、芸術鑑賞会、ロードレース大会、クラスマッチ(年1回)。
- ・ 式典関係はすべて阿蘇校舎で行う(阿蘇清峰校舎の生徒が移動)。

(1) 沿革

H23.4 岡山県立落合高等学校（普通科、看護科、専攻科）と岡山県立久世高等学校（生産生物科、食品科学科）が統合。

(2) 学科と募集定員

【計 210 人 5 学級 / 学年】

校地（校舎）	学科	H27 募集定員（人）
落合校地（旧落合高校）	普通科	80
	看護科	40
久世校地（旧久世高校）	生物生産科	35
	食品科学科	35

(3) 各校舎間の距離 約 6.4 km

(4) 校舎制の状況（H27.11.19 に学校訪問）

- ・ 校長は月水木が落合校地、火金が久世校地での勤務。
- ・ 両校地で同じ制服を採用している。
- ・ 合同の行事は、入学式（落合校地）、卒業式（落合校地）、芸術鑑賞会（3年に1度）、学年交流会（各学年で行う）。＜各行事とも大型バスで移動＞
- ・ 授業での生徒の移動はなし。
- ・ 部活動に伴う生徒の移動は、中型バス（スクールバス）で週に2日間（月金）のみ送迎。
- ・ 両校舎を兼務しているのは理科、芸術の教諭。
- ・ 部活動の大会等は合同チームで出場。活動が活性化している。
- ・ 生徒指導面等の摺合せが難しい。年度当初の合同職員会議で申し合わせ事項を確認している。

(1) 沿革

H27.4 北佐久農業高等学校（栽培システム科、生物サイエンス科、食品サービス科）、臼田高等学校（普通科、グリーンライフ科、デザイン科）、岩村田高等学校工業科（機械科、電子機械科、電気科）が統合。

(2) 学科と募集定員

【計 280 人 7 学級 / 学年】

キャンパス（校舎）	学科		学級数	H27 募集定員（人）
浅間キャンパス（旧北佐久農業高校）	農業科	栽培システム科	3 学級	120 人 （くくり募集）
		生物サイエンス科		
		食品サービス科		
	工業科	機械システム科	1 学級	40 人
		電気情報科	1 学級	40 人
臼田キャンパス（旧臼田高校）	創造実践科（総合学科）		2 学級	80 人

平成 28 年度募集から、農業科は食料マネジメント科、生物サービス科、食農クリエイト科になる。

(3) 各校舎間の距離 約 9.6 km

(4) 校舎制の状況（H27.12.2 に学校訪問）

- ・ 一つの高校としての一体感を醸成していくことには配慮している。そのために、そのキャンパス、その学科でしかできないことと共同でできることの線引きをどこで行っていけばいいのかを現在模索中である。例えばキャンパス間ウォーク（両キャンパスを折り返して歩く）やクラスマッチ（各学年でどちらかのキャンパスに集まって行う）という行事は合同でやるが、文化祭はキャンパス別に行うということである。文化祭の別開催は「地域に開かれた学校」ということを考えた場合、1つのキャンパスのみの開催はできないだろうという発想である。
- ・ 1つのキャンパスで一斉に開催する行事については現地集合である。
- ・ 入学式、卒業式は浅間キャンパスで行っている（卒業式は予定）。
- ・ 生徒の授業でのキャンパス間移動はない。
- ・ 両キャンパスの兼務者は理科助手、音楽、美術、書道、農業の 5 人である。校務分掌がある方を本所属のキャンパスとしている。
- ・ 授業であれば産振用のマイクロバスを利用できる。通学用のバスはない。
- ・ 部活動について、巡回バス用の予算はない。平日は週 2 回（火、金）に P T A が持つマイクロバスを運行している。
- ・ 生徒指導面等での摺合せが難しい。
- ・ 求人（就職）と指定校（進学）については、1校扱いのため、両キャンパスで共有している。

資料4 平成 27 年度の検討結果まとめ及び平成 28 年度以降の検討スケジュールについて

1 平成 27 年度の検討結果

めざす学校像

一人一人の個性を伸ばし、地域と共に歩み、未来へ向かって躍動する学校。

心身ともに健全で、幅広い知識と高度な技術を有する人材を育成する学校。

国際的な視野と地域を愛する心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する学校。

調和のとれた「知・徳・体」を育み、生徒一人一人の個性を伸長していく。
現在の両校の特色である幅広い知識と高度な技術に関する教育内容を新高校にも生かしていく。

国際的な視野で地域貢献できる人材を育てることと共に、地域を愛する心を持って世界に羽ばたいていく人材を育てていく。

地域との連携や協力を大切にしていける学校であることを柱としていく。

2 平成 28 年度以降の検討スケジュール

嬉野地区新高校設置準備委員会検討スケジュール（案）
（平成 27 年度実施分を含む）

回	時期	主な検討項目
第 1 回	H27 年 5 月 28 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・新実施計画の概要 ・嬉野地区の再編計画について ・新高校設置に向けての検討事項及び検討スケジュール ・めざす学校像（現状を踏まえた意見交換） など
第 2 回	H27 年 7 月 28 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像 ・新高校の学科構成
第 3 回	H27 年 10 月 27 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像 ・新高校の学科構成 ・校舎制
第 4 回	H28 年 1 月 7 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像 ・新高校の学科構成 ・校舎制
第 5 回	H28 年 3 月 18 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・新高校の学科構成 ・校舎制 ・平成 27 年度の検討結果まとめ及び平成 28 年度以降の検討スケジュール
平成 28 年度 第 6 回	H28 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度の検討結果報告、平成 28 年度以降の検討スケジュール ・教育内容（教育課程、校時、部活動等） ・新高校名（検討方法について） ・新校章・新校歌・新制服（検討方法について）
第 7 回	H28 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容（教育課程、校時、部活動、学校行事、校務分掌、各種委員会等） ・校舎制（具体的な対応計画報告） ・新高校名（進捗状況報告） ・新校章・新校歌・新制服（進捗状況報告）

第 8 回	H28 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容（学校行事、選抜方法、生徒会活動、進路指導等） ・校舎制（具体的な対応計画報告） ・新高校名（進捗状況報告） ・新校章・新校歌・新制服（進捗状況報告）
第 9 回	H28 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新高校再編整備実施計画（原案）検討 ・教育内容（施設・設備、未消化分） ・新高校名（校名案について） ・新校章・新校歌・新制服（進捗状況報告）
	H29 年 2 月	・ 2 月議会（条例改正案）
	H29 年 3 月	・ 新高校再編計画
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">平成 29 年度</div> H29 年 4 月 ~		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動、施設・設備の整備 <p>進捗状況報告のための設置準備委員会を開校までに 1 ~ 2 回実施</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">平成 30 年度</div> <u>H30 年 4 月</u>		<u>開校</u>

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

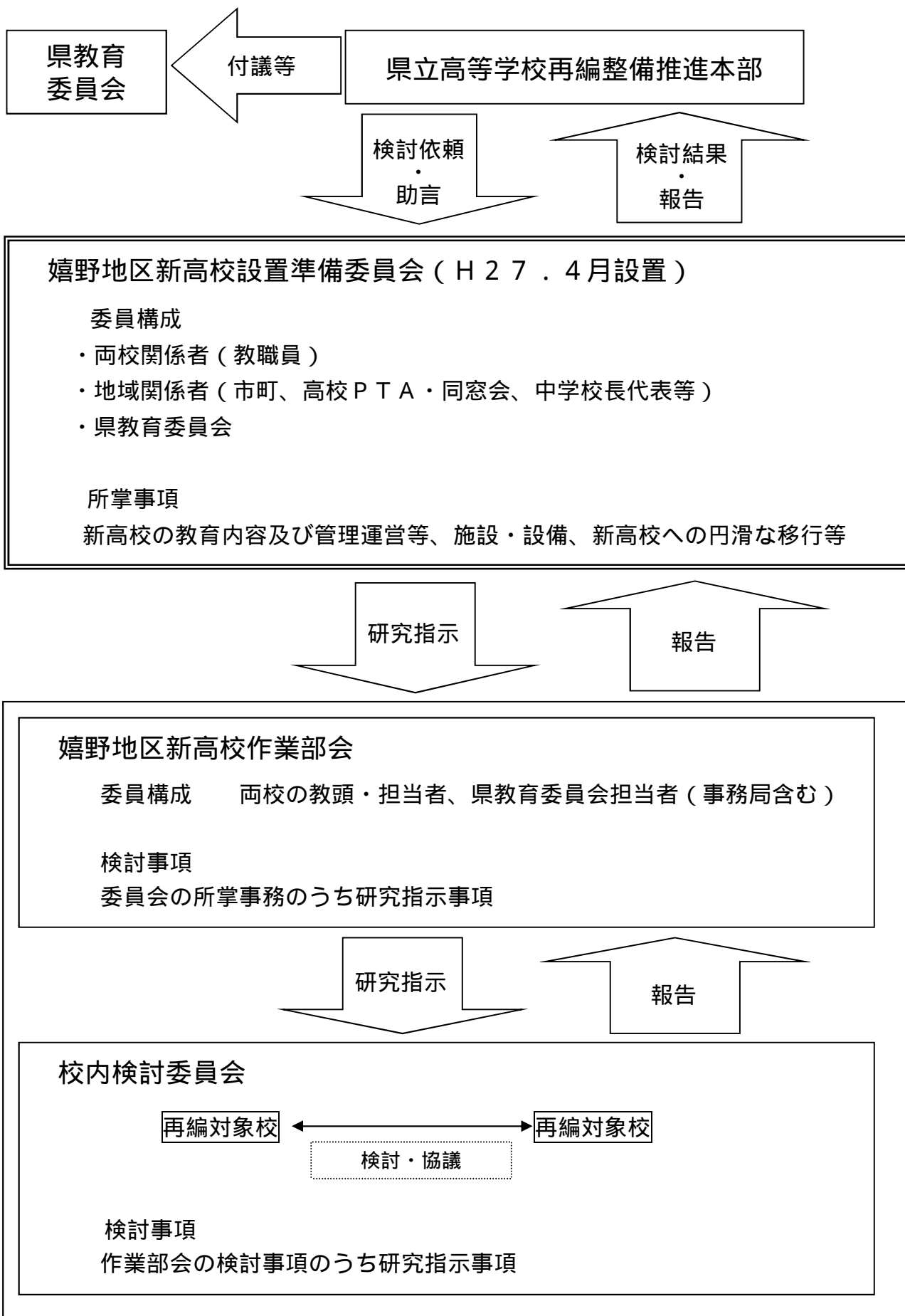
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料7 嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考			
1	塩田工業高等学校 校長	藤井 伸幸	委員長・学校関係者			
2	嬉野高等学校 校長	峰松 藤一郎	副委員長・学校関係者			
3	塩田工業高等学校 教頭	津川 久博	学校関係者			
4	嬉野高等学校 教頭	池田 豊昭				
5	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	市関係者		
6	嬉野市副市長	中島 庸二				
7	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市	市関係者		
8	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市			
9	塩田工業高等学校 同窓会代表	西村 利則	地元関係者			
10	嬉野高等学校 同窓会代表	山下 芳郎				
11	塩田工業高等学校 PTA代表	石橋 蔵人				
12	嬉野高等学校 PTA代表	太田 和章				
13	嬉野市立塩田中学校長	永田 由美	中学校関係者			
14	嬉野市立嬉野中学校長	陣内 弘文				
15	教育政策課長	八谷 幸浩	県教委関係者			
16	教育情報課長	碓 浩一				
17	教職員課長	福地 昌平				
18	学校教育課長	松尾 敏実				
19	保健体育室長	三上 智一				
20	教育支援課長	源五郎丸 靖				
21	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章				
22	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰				
事務局	塩田工業高等学校教諭	見浦 浩徳				
	嬉野高等学校教諭	梶原 理世				
		滑川 喜生				
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄				
県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎					